



【平成26年度 上伊那圏域福祉フォーラム】

日時：H26年11月15日（土）13：30～16：00（予定）

場所：中川文化センター（上伊那郡中川村片桐4,757番地）

主催：上伊那圏域地域自立支援協議会

上伊那圏域福祉フォーラム実行委員会

参加費：無料

内容：上伊那圏域の障がい福祉の現状とこれから（案）



【地域で暮らそうフォーラム2014！】

日時：H26年12月19・20日（金）13：00～（土）13：00

場所：ホテル国際21（長野市県町576）

主催：地域で暮らそうフォーラム2014！実行委員会

参加費：一律5,000円（障がい者・学生1,000円）

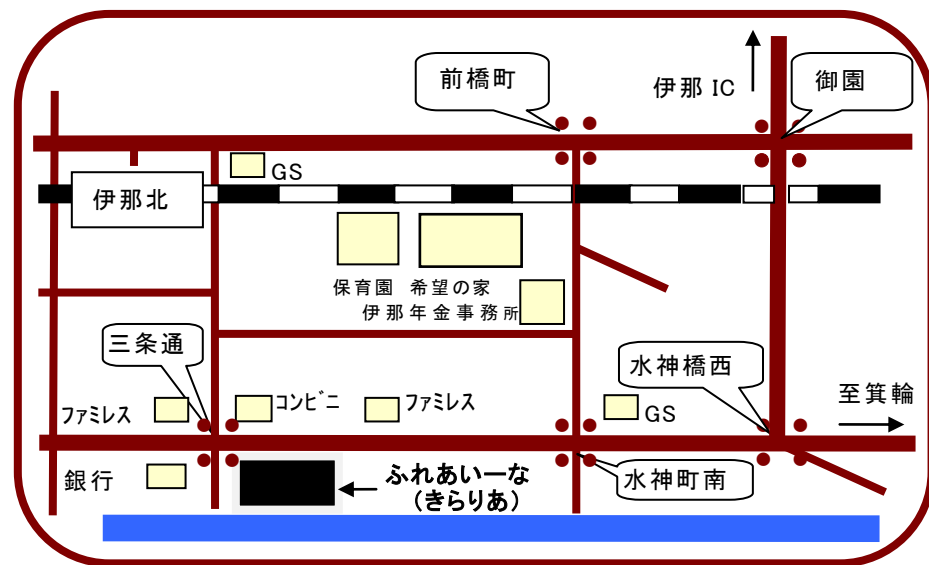
内容：2日間の日程で障がい当事者の自宅訪問（ライブ中継）やファッションショー、そして各種分科会（生活介護・就労・計画相談・地域移行）、知事との対談等を計画しています。

※詳細は実行委員会事務局（NPO法人長野県相談支援専門員協会

電話：0265-225-9010）まで



事業所 所在地・連絡先



上伊那圏域障害者総合支援センター

きらりあ

〒396-0023 伊那市山寺298-1

電話：0265-74-5627

FAX：0265-74-8661

e-mail：ksc@ar.wakwak.com

★きらりあのHPはこちら★

<http://park20.wakwak.com/~kiraria/>

編集後記

毎年きらりあの相談実績を掲載していますが、原稿を依頼するときにTさんに今年は表ではなく数字から読み取って！！とお願いしました。出てきた原稿がQ&Aで紹介されていて、見て頂いた通り、わかりやすく色のにもほんわか書いていただけました。強引な注文にもこたえてくれたTさんに感謝です！！



上伊那圏域障害者総合支援センターきらりあ広報誌



はあとびあ

第20号
2014/9月

発行：（社福）長野県社会福祉事業団 上伊那圏域障害者総合支援センター

H26年度も元気に走っています！

所長 辰野恒雄

今年のお盆は雨に見舞われ、あちらこちらで災害が出てしまいました。また日照り続きで夏野菜の高値を生み、不安定な天候に振り回された感がありますが皆様お変わりありませんか？。

「サービス等利用計画」作り、この圏域は県内ではずっと最下位に位置していますが、決して座っているわけではありません。スタートで出遅れている市町村はここに来て勢いを増しています。「一人も積み残さない」意気込みで、指定事業所も増え、相談支援専門員同志も集まりの中で熱く語り、歩をそろえ始めています。上伊那圏域の団結力と一枚岩の姿、見せるのは「今でしょう！」。

自立支援協議会各専門部会も走っています。フォーラムは中川村のご協力で11月に実施します。ご期待ください。

平成25年度『きらりあ』相談実績



このコーナーでは、昨年度の相談実績をQ&A形式でご紹介します♪



Q：きらりあでは、昨年度どれくらいの相談支援をしたの？

A：のべ9160件です。この他、就業・生活支援センターでも、のべ3700件の相談支援を行いましたよ。

Q：うわあ～、そんなにたくさん！一体、どんなふうにご相談しているの？

A：電話相談が最も多くて2433件。次いで訪問相談が2240件でした。便利で気軽に利用できる電話相談やご自宅等で安心してお話できる訪問相談が積極的に活用されていますね。就業・生活支援センターでも電話相談が約52.4%を占めていましたよ。

Q：なるほどねー。じゃあ、どんな内容の相談が多いのかな？

A：福祉サービスの利用相談が1925件で最も多く、生活技術1083件、不安解消・情緒安定1023件などとなっています。サービスの紹介や利用手続き、暮らしの中の困り事相談、不安に寄り添って悩みをお聴きする相談支援に対するニーズの高さが窺えますね。ちなみに、就業・生活支援センターでは、就職に向けた相談や支援が1942件と半数以上を占めていましたよ。

今年度もきらりあでは、引き続き、相談される皆様、一人ひとりの夢や願いを大切に、多様な支援を展開してまいります。どうぞよろしくお願いたします。



私たちがきらりあスタッフです！！



今年新たに加わった
仲間3人です！！



初めまして。4月からきらりあに仲間入りした東松です。就労支援を担当しています。3月に愛知県から引っ越してきて、まだまだ地図を手離せない毎日ですが、少しでも皆様のお力になれようがんばります。よろしくお願いします。(東松多恵)



今年度の就業・生活支援センターは・・・

就業・生活支援センターきらりあは今年度「定着支援ワーカー」が増員になり、4名体制となりました。きらりあとしては、障がいのある方の就業支援（就職するためのお手伝い）と同じように、定着支援（働き続けるためのお手伝い）を大切にしています。また、自立支援協議会の就業支援部会では、平成27年度より本格的にはじまる「就労系障害福祉サービスの利用に係るアセスメント」通称「B型アセスメント」についての学習、体制整備の検討を進めています。興味のある方は是非就業支援部会にご参加ください。



ここで一言・・・
今回この紙面に色を添えてくれたイラストですが、M・Iさん（きらりあ利用者）が描いたものをつかわせていただきました！！ありがとうございました。

6月から定着支援ワーカーとしてきらりあで働いている秦野です。まだわからない事だらけですがよりよい環境で長く仕事が続けられる為に自分に出来る事を精一杯やらせていただきたいと思います。よろしくお願いします。(秦野雅子)



4月から就業・生活支援ワーカーしています。吉村です。3月まで一般企業で働いていたため福祉の世界は初めてですが利用者さんの思いに添った相談支援をしてきたいと思います。未熟者ですがよろしくお願いします。(吉村亜唯)



今年度どんな動きをしているのかな？ちょっと聞いてみました・・・

精神障がい者地域移行について

長野県は2007年より国に先駆けて精神障害者退院支援コーディネーター設置事業を実施し精神障害者の退院促進、地域移行に積極的に取り組んできました。ですが全国的にみると32万人の方が入院しその中でも10年以上の入院期間になる方は未だ7万人と言われていています。誰もが住む場所を自ら選択し、誰と生活するかを選択するという事は当たり前のことではないのでしょうか？

長野県が先駆けて行った事業も国としては2012年に終わり、県単独で継続していた事業も2014年で終わりになろうとしています。ただ、少しでもこの当たり前を当たり前にしていくことのお手伝いをしていけたらと微力ながら思っています。

長野県セルフセンター協議会

事業化推進員 梅津 義雄

長野県セルフセンター協議会の事業化推進員の梅津です。南信地区の就労支援事業所の工賃向上並びに事業取組を支援しております。

現在は、「障がい者優先調達推進法」や「農業就労チャレンジ事業」等の推進も加わり利用者の工賃向上を目指します。



発達障がいサポート・マネージャーです。

発達障がいサポートマネージャー 北澤 克巳

昨年から発達障がいの皆さんを支援し、できるかぎりいろいろな人や事業所をつなげて、そのひとが困ることを解消していく仕事をしています。その前も高校生を対象にした、同じような仕事をしてきました。

そこでびっくりしたことは、高校生の中で学校生活ばかりでない分野でも困っている生徒さんの多さでした。学校には毎日通えている。勉強もしっかりやっている。でも友達と気持ちが通じない。なんだか浮き上がっている。挨拶しないから孤独なんかなあ。学校行きたくないからもう休んじゃお・・・こうやって家に居続けるようになります。こうなると誰もどこも関わられません。

こんな風に高校を境にして社会から縁遠くなってゆきます。でもこの状況は高校ばかりではありません。高校卒業したのに進学先で困ってしまった。就職して晴れの社会人になったのに、何かがきっかけで勤めに行かなくなった。それから30代4代になっても同じ状況が続いていきます。

困った状況を誰かが気づいてどこかにつなげてあげる、例えば学校、市町村、病院それに福祉などにつなげてあげれば、その人の状況は間違いなく一変します。いま、赤ちゃんから保育園、小学校そして中学校へその人の引継はスムーズにできるようになりました。療育という分野を支援される方々の努力とたゆまない支援の力の結果と言えます。

高校生以上の支援は中学校からの引継によって以前より格段に充実したと言われています。でもそれはまだ一部の地域一部の学校に限られています。私の仕事も本来の支援の輪を広げてゆくことが進んでいません。今年は高校までの連携を強固にできるようご本人、ご家族、関係の皆様とともに困った状況の解消に向けて前進してゆきます。どうかさらなるご支援をお願いします。

